

jujuいすみ中央 (神奈川県)



- ①高級感のあるホテルライクな共用部
- ②調度品も厳選したものを揃えた
- ③それぞれの施設では全国の生産地を訪問し、美味しい食材を調達している



から支えているのが、各種センサーやAIなどを駆使した先進技術だ。「施設内には『ライプリズムナビ+Dr.』という見守りシステムを核としてさまざまなシステムを導入しています。これらは、居室に取り付けた非接触型センサー等によって入居者様の心拍や呼吸、ドアの開閉、温湿度、行動軌跡などの各種データを高精度で収集するものです。人による見守りでは、

異なる気配は事故、後になつてしまふ、後からの検証もにくい。しかしデータを分析すれば、介護の現場に潜在する問題を可視化し、事故の身を構むことも不可能ではありせん。データを使ったリアルタイムの見守りは、利用者の方にとつての安心につながるうえ、現場の負担軽減にも貢献。介護・医療スタッフがいよいよ心こもったサービスに専念できます」

テックロジーを活用している介護施設はまだ少ない。なぜ、先進技術を生かした介護施設運営に乗り出したのか。大下氏は「私自身が介護・医療業界に15年関わってきたなかで、属人的な介護サービスに限界を感じていました」と話す。「超高齢化社会の中で、介護はますます重要度を増しています。しかしそのサ-

異変に気付くのは事故、後になつてしまふ、後からの検証もにくい。しかしデータを分析すれば、介護の現場に潜在する問題を可視化し、事故の身を構むことも不可能ではありせん。データを使ったリアルタイムの見守りは、利用者の方にとつての安心につながるうえ、現場の負担軽減にも貢献。介護・医療スタッフがいよいよ心こもったサービスに専念できます」

OA総研では、今後「じゅじゅ/jujuシリーズ」をさらに拡大し、センシングするデータを増やして手厚い見守り体制を構築していく予定だ。同時に、認知症の根絶を目指した研究も進めていく。「一人ひとりの尊い『いのち』を、次の世代へつないでいく。それが、私たちの使命だと思っています」

【じゅじゅ/jujuシリーズ(OA総研)】

一人ひとりの尊い「いのち」を
快護×医療×研究でつなぐ



OA総研 代表取締役
大下 甚氏

介護の現場に潜在するあらゆる問題を見える化し、安全性・快適性の高い「快護」を実現する。「じゅじゅ/jujuシリーズ」はテクノロジーを活用した先進のサービス付き高齢者住宅である。自分の家族を預けたいと思える介護施設。介護型をうたう高齢者住宅であっても、健康状態によって入居できなかつたり、途中退去となるケースは少なくない。「じゅじゅ/jujuシリーズ」では、重度の認知症や高度な医療行為を必要とする人をできる限り受け入れており、入

居要件の「医療の壁」をぐっと低くしている。介護や医療に力を入れるが、効率重視の無味乾燥な施設ではない。安土を守りながらも暮らしを楽しむための工夫が凝らされている。例えば「じゅじゅ松ヶ丘公園」(千葉県)であれば、京都の和紙細工をはじめ日本の伝統工芸品を随所に取り入れ、落ち着いた雰囲気。一方「jujuいすみ中央」(神奈川県)ではホテルのような上質な空間を作り出している。食事は素材を吟味し「食べる喜び」を感じられるようこだわりを尽くす。

さらに、居室はプライベートが守られる個室仕様。併設の訪問介護・訪問看護センターのスタッフが連携し、入居者の自由な暮らしを尊重しつつも、何か異変があればすぐに駆けつける

じゅじゅ松ヶ丘公園 (千葉県) 土地活用企画 株式会社グレイ



- ①緑豊かな公園の一角に位置する絶好のロケーション
- ②京都の和紙を用いたインテリアアートがラウンジを彩る
- ③ゆったりとくつろいで過ごせるラウンジ



体制を取っている。同シリーズを運営するOA総研代表取締役の大下甚氏は「戦後日本を作り上げた人生の先達へ敬意を払うには、これだけの手厚さがあってしかるべきです。私

自身が親を預けたいと思える施設を目指しています」と話す。高精度のデータで問題を「見える化」安心で快適な環境を裏側

お問い合わせ



0120-80-1010

じゅじゅブランドサイト <https://oa-soken.co.jp/juju/>